

学校支援会報

■平成27年9月11日発行 第5号 ■編集 一関市学校支援室根地域本部事務局(一関市室根市民センター内TEL:0191-64-2347)

真っ白ピカピカ！サッカーゴール

室根中学校のサッカーゴールは、10年ほど前にサッカー部の保護者で塗装したきりで、塗装がはがれてボロボロ、一面サビだらけでした。そのサッカーゴールの塗装ボランティアに、齊藤さんに協力を依頼。8月3日と4日の二日間にわたり作業をしていただきました。

齊藤さんは、改めて見るサッカーゴールの大きさに驚いていましたが、直ぐに持参した梯子に昇り作業開始。すべての面を、時間をかけてヤスリでサビをおとしてサビ止めを塗り、最後に上塗りして仕上げました。一日では終わらず二日目も朝早くから半日かかり、



一面のサビを丁寧に処理



まるで新品。真っ白に仕上がりました

隅々まで丁寧に仕上げてくださいました。中学校の先生方は「サビの痕がすっかり消えて見違えるほど真っ白。とてもありがたい」と話していました。室中サッカー部顧問からは「こんなにきれいにしてもらったので絶対強い部にさせます！」と誓っていました。今後の活躍をぜひ期待します。齊藤さんには、炎天下の中、汗だくになりながら二日間にわたって作業をしていただきました。心から感謝申し上げます。

廃棄図書 ふれあいホールで再利用



室根東小学校では、傷みか激しいものや情報が古くなってきたものなど約100冊の本が図書室から廃棄され、

ふれあいホールラベルを「ふれあいホール」に貼り直しに置かれています。図書委員会の子どもたちが低・中・高学年それぞれにおすすめの本として分類し、読書コーナーを設けて読みやすくしてくれています。これらの本を図書室の本と区別するため、小松美

紀さんと金野晴子さんをお願いし、読書普及員の中澤和子さんにもお手伝いをいただきながら、ラベル直しや廃棄印を押すなどの作業を行いました。「ふれあいホール」の本は図書室の本と違い、貸し出しの手続きをとることなく自由に借りて読むことができます。手際よく作業していただき予定より早く終了しました。ありがとうございました。

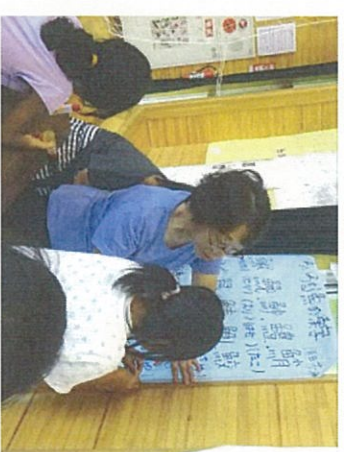


2学期から活用できるよう夏休み中に作業していただきました

夏休み自由研究 力作ずらり

室根西小学校では「夏休み作品展」の展示ボランティアに小林恵子さん、吉田晴美さん、佐々木美由樹さんの3人を依頼。8月24日に展示のお手伝いをしていただきました。

自由研究は3年生以上の夏休み課題。一人2枚前後の模造紙に作成されており、全員分になると枚数も多くなります。展示スペースも限られることから、全員分が貼れるよう作品枚数を確認しながらの作業。



子どもたちもお手伝い

脚立を使って高い位置に貼る必要もあり、3人は役割分担し協力しながら作業を進めていました。おかげで展



協力して展示作業しました

示作業はスムーズに終了し体育館の壁には自由研究がずらりと並びました。どの内容も素晴らしく、夏休みに子どもたちが頑張った成果に皆さん感心していました。

お忙しいところご協力をいただき、ありがとうございました。

かまどの炎で美味しい豚汁できました♪

室根東小学校で9月4日、恒例の室根山自然体験学習が行われました。子どもたちが自然に親しみ、野外での体験学習を通して「強く」「たくましく」生き抜く力を培うとともに、異年齢集団のちつ教育力を



を活かし、理解と協調・連帯の心を育てることをねらいとしています。



美味しい豚汁にみんな笑顔

当日は蟻塚公園から徒歩で旧道を登山。班ごとに助け合いながら望洋平キャノン場を目指しました。途中、低学年の荷物を



建築のお仕事から出る廃材を薪用にとり取っておいでくださいました

持って登る班長ができました。子どもたちは持参したおにぎりと一緒に自分たちで作った豚汁をおいしそうにほおばっていました。登山や野外炊飯の苦勞も吹き飛ばし喜んでいました。